

全国障がい者スポーツ大会『燃ゆる感動かごしま大会』

祝 金メダル ボッチャ おめでとうございます



令和5年10月28～30日に全国障がい者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が行われました。この大会に粟井地区より則内喬さんが愛媛県代表としてボッチャ競技に参加されました。26日早朝愛媛県身体障がい者福祉センターを出発し、27日の前日練習の後、28日開会式直後の試合となりましたが、第1グループプールBにおいて、見事1位で愛媛県選手団の第一号となる金メダルを獲得されました。

ボッチャ競技は、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目となっています。全国障がい者スポーツ大会においても、令和3年の三重大会より正式種目となり、愛媛県においても選手を選考し派遣しています。また近年では、ユニバーサルスポーツとして障がいのある方だけでなく、子供から高齢者まで行われています。

今回、全国障がい者スポーツ大会でのボッチャ競技は、立位代表則内さん、座位代表大林さん（松山）のペア戦で行い、則内さんは、キャプテンとして勝敗を左右する効果的なショットを幾度もされ、北九州市、札幌市に連勝しました。

この成績が評価され、本年1月10日に第51回愛媛新聞スポーツ賞をパラスポーツ部門で受賞されました。また令和5年度愛媛県障がい者スポーツ協会表彰においても優秀選手賞を受賞されました。

《ボッチャ：ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。》

編集後記

新型コロナウイルス感染状況の鎮静化に伴い今年度は4年ぶりに、例年どおりの活動を行うことが出来ました。

民生児童委員様、区長会様、ふれあい女性部様を始め、大勢の方々のご協力をいただき活発な活動ができましたことに、心より感謝申し上げます。

令和5年度募金額

赤い羽根共同募金へのご協力
ありがとうございました。

地区町内会	1,072,500円
民生児童委員	240,284円
合計	1,312,784円

福祉だより



あわい

編集・発行
粟井地区社会福祉協議会
松山市久保88番地
松山市粟井公民館内

粟井の動き

人口 6,501人
(65才以上人口 2,514人)
高齢者人口比率 38.7%
世帯数 2,678戸
(令和6年2月1日現在)

新型コロナウイルス感染状況の鎮静化に伴い、4年ぶりに、例年どおりの活動を行うことが出来たので、第38号「福祉だより あわい」は、活動内容中心に編集しました。

『卒業生との鯛めしづくり会』2月21日

上手に出来た郷土料理 美味しい



《卒業生からの感想文》

今日の郷土料理作りは、前回の調理実習より皆さんの材料があったので、できるかどうか不安でしたが、地域の皆さんの協力もあり、みんな上手に炊きあげました。運良くありました。みんな一緒に作って、お祝いも、地域の方が作り、味は、とてもおいしかったです。地域の方が作り、味は、とてもおいしかったです。地域の方が作り、味は、とてもおいしかったです。

粟井小学校を3月に卒業される6年生の児童53名と地域住民と一緒に料理を作りました。メニューは鯛めし・筑前煮・汁物です。

地域の方に料理の作り方を教えてもらいながら、材料を洗ったり、包丁を使って皮をむいたり、鍋で炒めたりして力を合わせて作りました。郷土料理である鯛めしは、人気メニューでお代わりをする児童も多く見られました。



私が頑張ったことは、ごぼうの乱切りです。ななめに包丁をいれて、コロコロと切らせて、にカットできました。地域の方がお手をまわして、切らせてくれました。地域の方がお手をまわして、切らせてくれました。地域の方がお手をまわして、切らせてくれました。

『男性料理教室』9月29日 栗井農村環境改善センター

★5つ料理 笑顔に大満足！



新型コロナ感染拡大防止のため中止していました男性料理教室が、4年ぶりに21名の参加を得て、和やかに開催されました。

ふれあい女性部の作道さんと藤本さんの指導により、【糖尿病予防は毎日の食生活にあり！】をテーマに5品の料理を、4つのグループ毎に協力して調理をスタート。

各グループには料理上手な女性が協力者として入りました。それぞれの役割をこなし、彩り鮮やかな料理が完成しました。

奥さんや娘さんに見せようと写真を撮る姿も。「今日の料理は、★5つや」と皆さん大満足の様子でした。笑顔の絶えない時間となりました。

①雑穀米ご飯 ②豚肉と野菜のマスタードソースかけ ③なすの梅肉あえ ④クリーミー味噌汁 ⑤フルーツ寒天 大変美味しくいただきました。

『囲碁・将棋交流会』10月25日 北部福祉交流の家

4年ぶりの熱戦 静かに楽しむ！

コロナ過で実施出来ず、4年ぶりの開催となりました。久しぶりの交流戦に気合い十分で囲碁と将棋に分かれ対戦を楽しんでいらっしゃいました。途中で対戦相手を交代しながら、5時間余りの静かな熱戦を繰り広げていました。

参加者の中には、紅一点80歳代の女性がいらっしゃいました。70歳を過ぎてから囲碁・将棋を習い始めたそうですが、互角に勝負されていました。



『いきいき健康教室』11月15日 栗井農村環境改善センター

和気あいあい 体をほぐす!!

改善センター2階大会議室において、光洋台で体操教室をされている田坂真理子先生を講師に迎え、「椅子を使った健康体操」を35名の参加で実施しました。

最初、「自分の体を知りましょう」と、目を閉じて約30秒その場で足ふみを行い、目を開けると、前に進んでいたり、後ろに進んだりしていました。その後、肩甲骨や股関節をほぐしていききました。筋力低下や腰痛を防ぐためには、腸腰筋を伸ばすストレッチが有効であることを学びました。



『栗井社協の1日研修』12月21日 愛媛県在宅介護センター

介護のいろは みんなで学ぼう

栗井地区社会福祉協議会、民生児童委員、みまもり員さんの福祉向上と団体間の連携強化を目的として一日研修が実施されました。

貸し切りバスを用意していただき、愛媛県在宅介護センター（松山市末町）の施設内を見学し、介護のいろはを学ばせていただきました。車いす用階段での車いすの試乗、介助の体験や施設内へのお風呂を見学しました。その後は介護用ベッドや手すりの体験、VRによる認知症の体験を行いました。大変実のある体験ができ、ありがとうございました。

